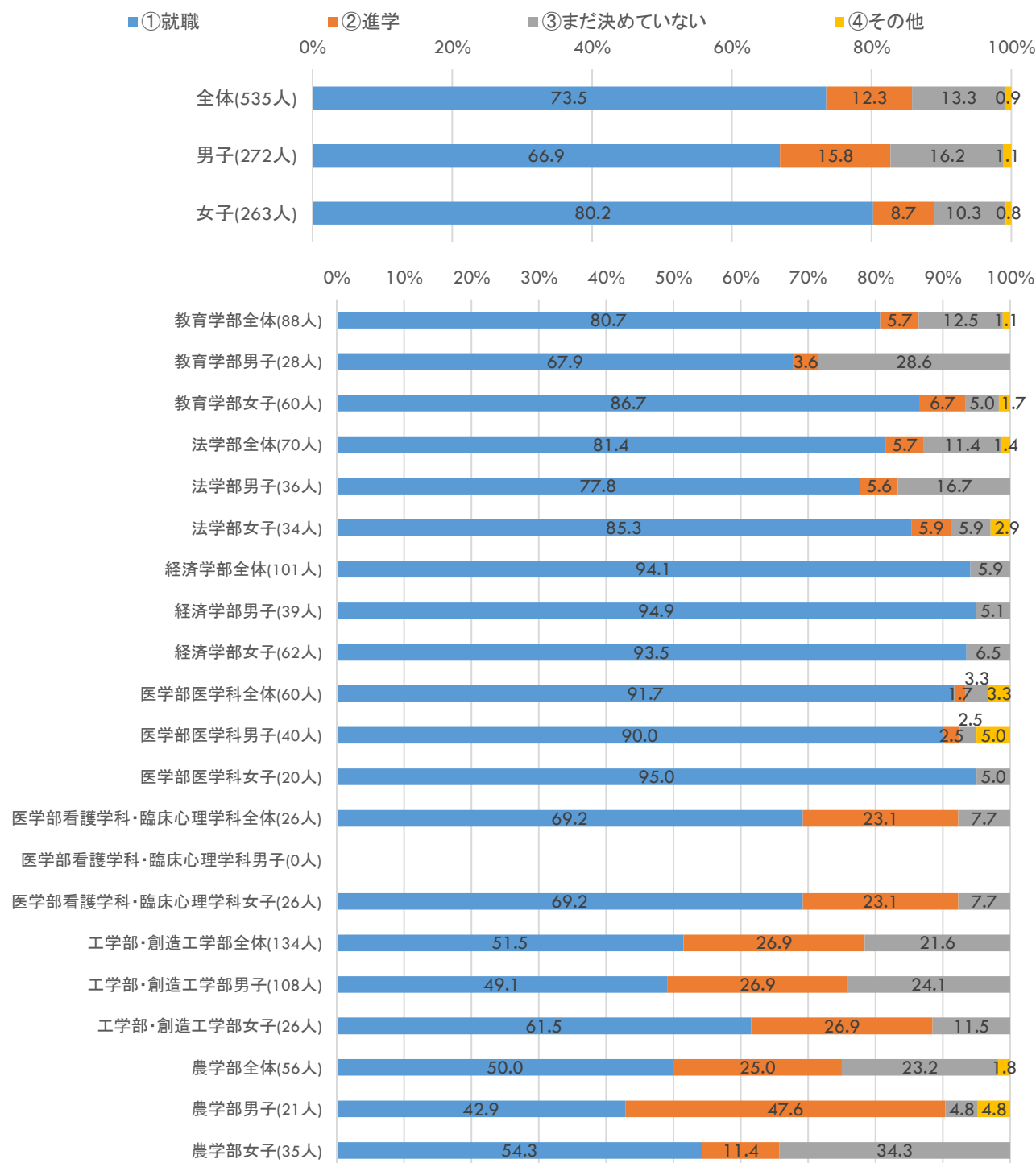


### 3 職業選択 (1) 卒業後の進路

問34 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

全体の73.5%の学生が卒業後の進路として「就職」を考えています。この割合は増加する傾向にあり、平成21年度の調査以降で最も高くなっています。この割合を男女別にみると、男子では66.9%でしたが、女子では8割上の80.2%に達しています。

「就職」と答えた割合を学部別にみると、医学部医学科、経済学部では約90%、教育学部、法学部では約80%、医学部看護学科・臨床心理学科では約70%と比較的高くなっています。工学部・創造工学部と農学部では「進学」の割合が約25%と高いのと、「まだ決めていない」と答える学生も20%以上と多いため「就職」の割合が約50%と低くなっています。

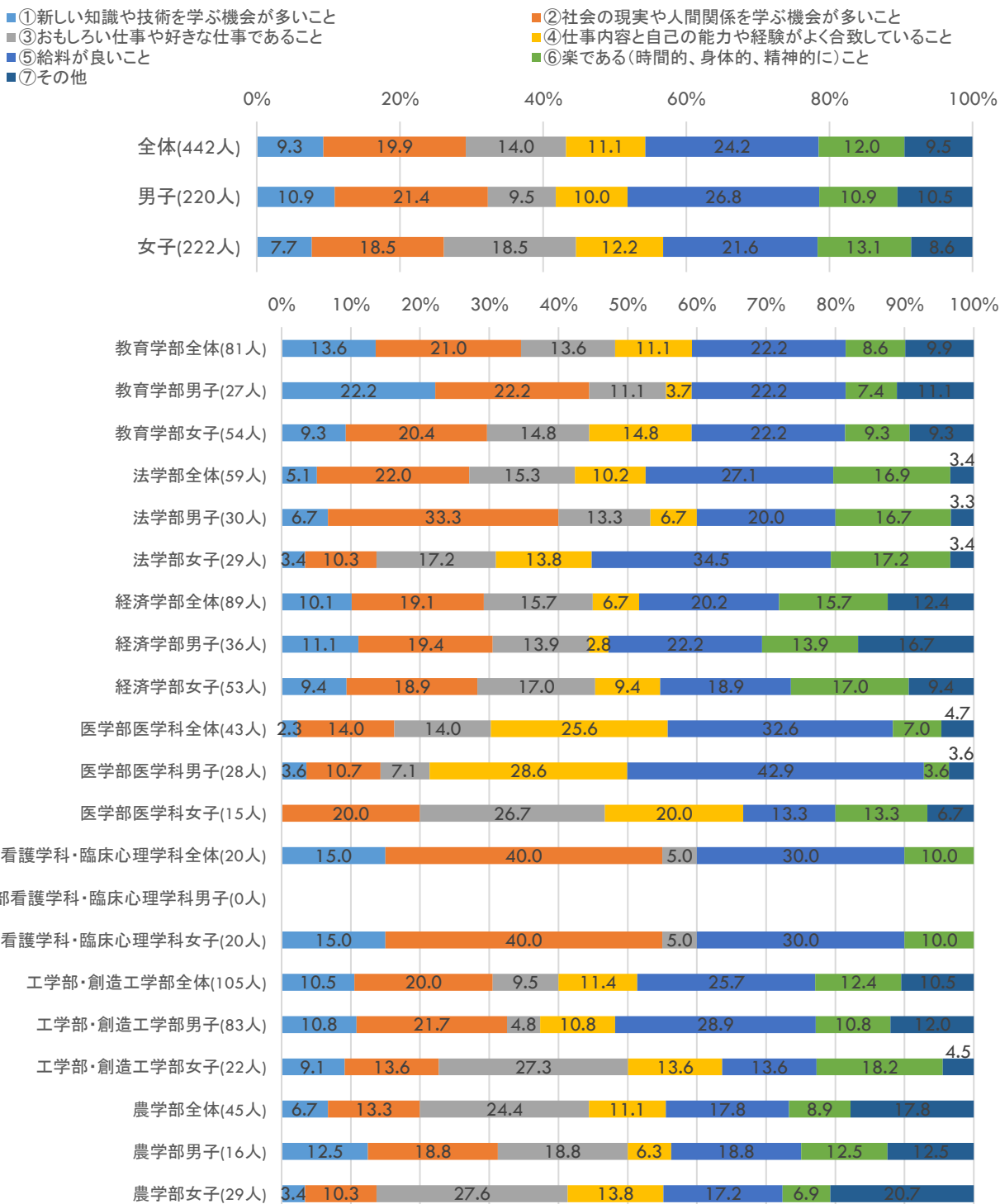


(2) 選ぶ基準

問35 あなたがアルバイトをしたとき、何を基準にして仕事を選びましたか。

アルバイトを選ぶ基準は、全体では「給料が良いこと」が最も高く、「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」、「おもしろい仕事や好きな仕事であること」が続いています。男女別でみると、男子では「給料が良いこと」と「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」の合計で約50%であるのに対して、女子ではこれらの合計は約40%に留まり基準の分散化が進んでいます。

学部別にみると、教育学部、法学部、経済学部、工学部・創造工学部では「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」と「給料が良いこと」が同程度に高く、医学部医学科では「仕事内容と自己の能力や経験がよく合致していること」と「給料が良いこと」が高く、医学部看護学科・臨床心理学科では「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」で特に高く、農学部では「おもしろい仕事や好きな仕事であること」が最も高くなっています。

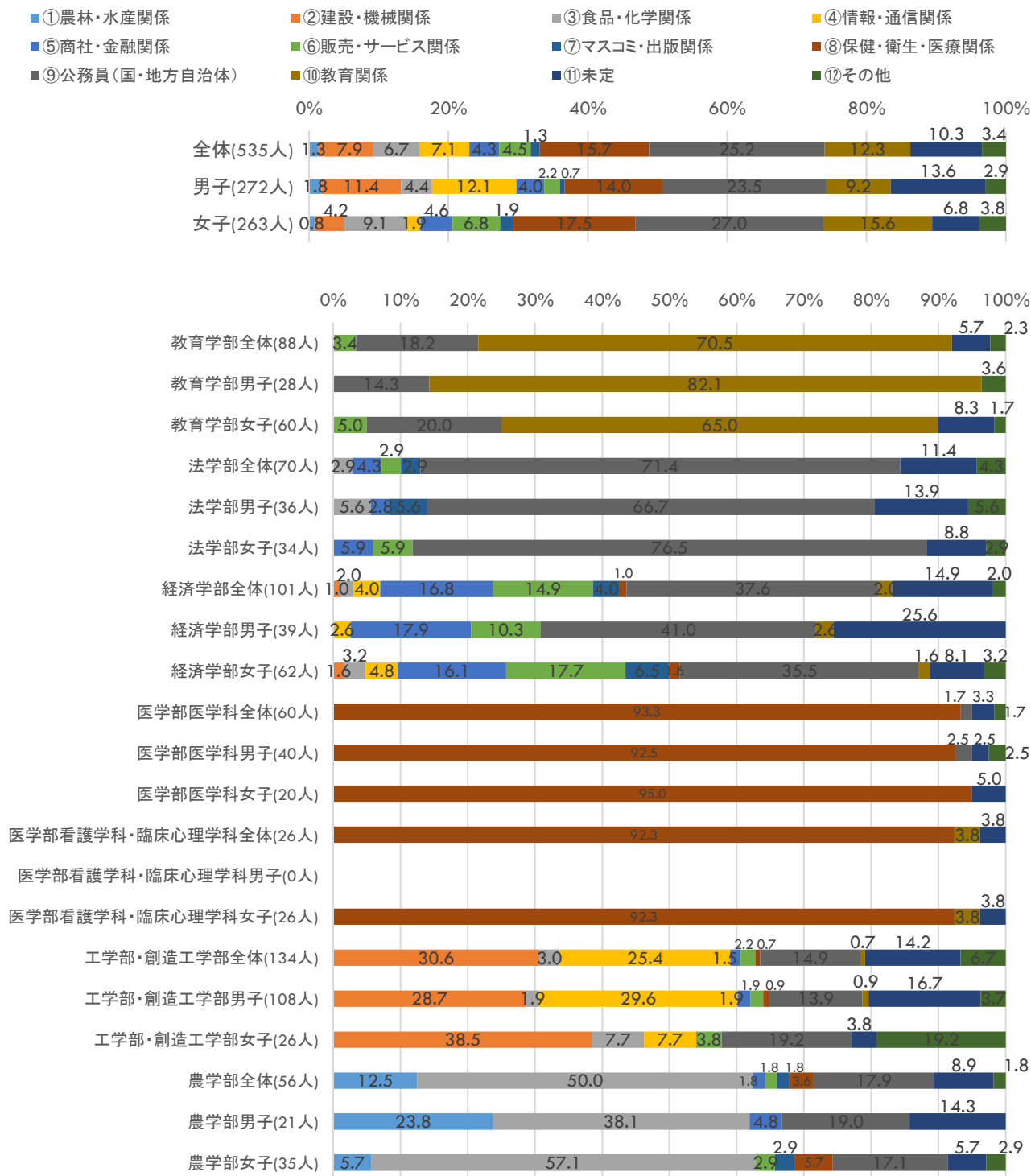


(3) 希望する分野

問36 職業を決めるにあたって希望する分野は何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

希望する職業分野は、全体では「公務員(国・地方自治体)」が25.2%で最も高く、次いで「保健・衛生・医療関係」、「教育関係」の順となっています。男女別にみると、「公務員」、「保健・衛生・医療関係」に次いで、男子では「未定」、「情報・通信関係」、「建設・機械関係」で高く、女子では「教育関係」、「食品・化学関係」で高くなっています。

学部別にみると、学部の特色が反映され、教育学部では「教育関係」、法学部と経済学部では「公務員」、医学部では「保健・衛生・医療関係」、農学部では「食品・化学関係」で最も高く、工学部・創造工学部では「建設・機械関係」と「情報・通信関係」が同程度に高い傾向にあります。

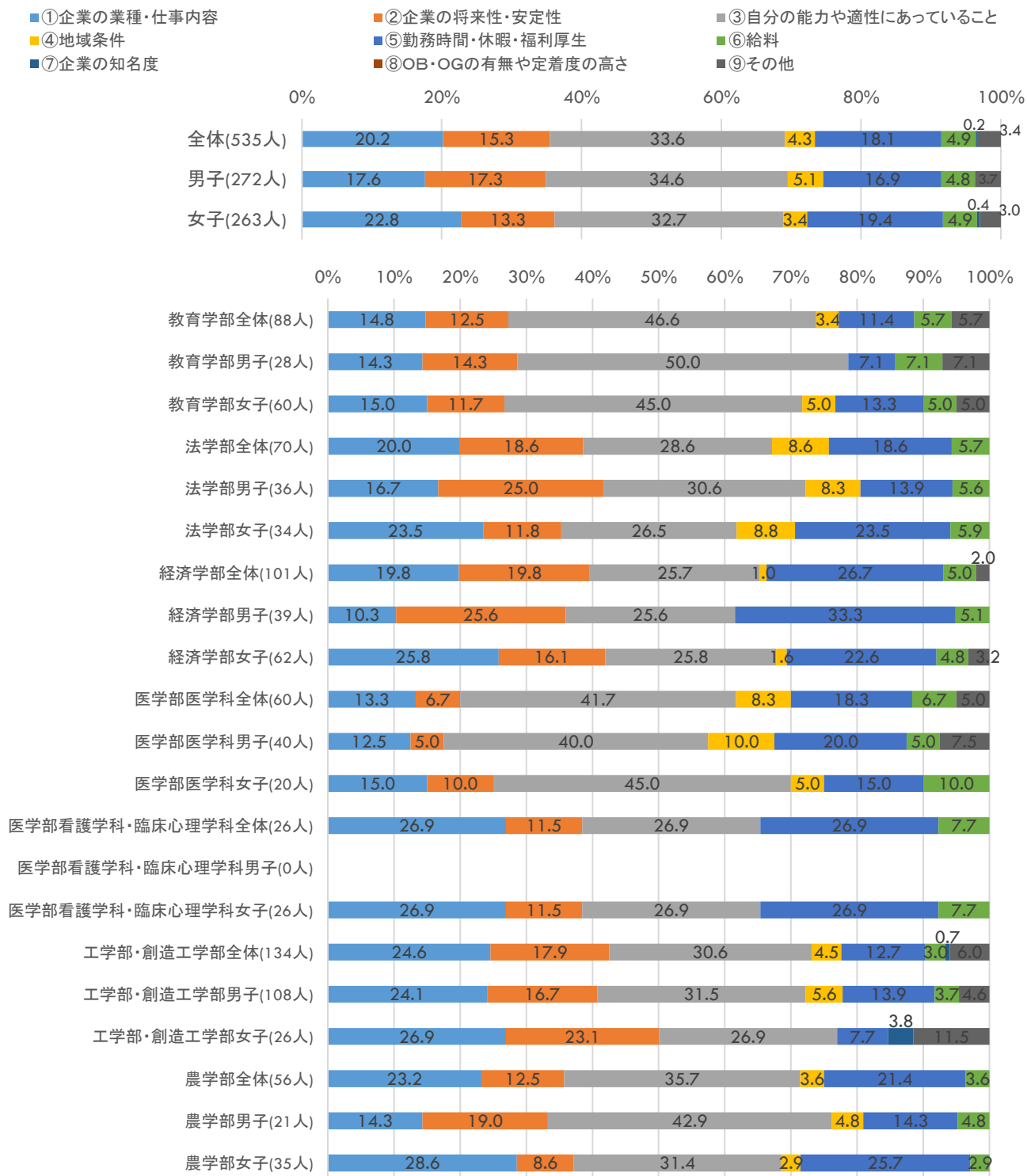


(4)職業選定で重視すること

問37 職業を決めるにあたって重視することは何ですか。

職業を決めるにあたって重視することは、全体では「自分の能力や適性にあっていること」が33.6%で最も高く、次いで「企業の業種・仕事内容」(20.2%)、「勤務時間・休暇・福利厚生」(18.1%)、「企業の将来性・安定性」(15.3%)の順となっています。

学部別で見ると、教育学部と医学部医学科では「自分の能力や適性にあっていること」が特に高く、法学部、工学部・創造工学部、農学部では「企業の業種・仕事内容」と「自分の能力や適性にあっていること」が、経済学部では「自分の能力や適性にあっていること」と「勤務時間・休暇・福利厚生」がそれぞれ高く、医学部看護学科・臨床心理学科では「企業の業種・仕事内容」、「自分の能力や適性にあっていること」、「勤務時間・休暇・福利厚生」に回答が分散しています。

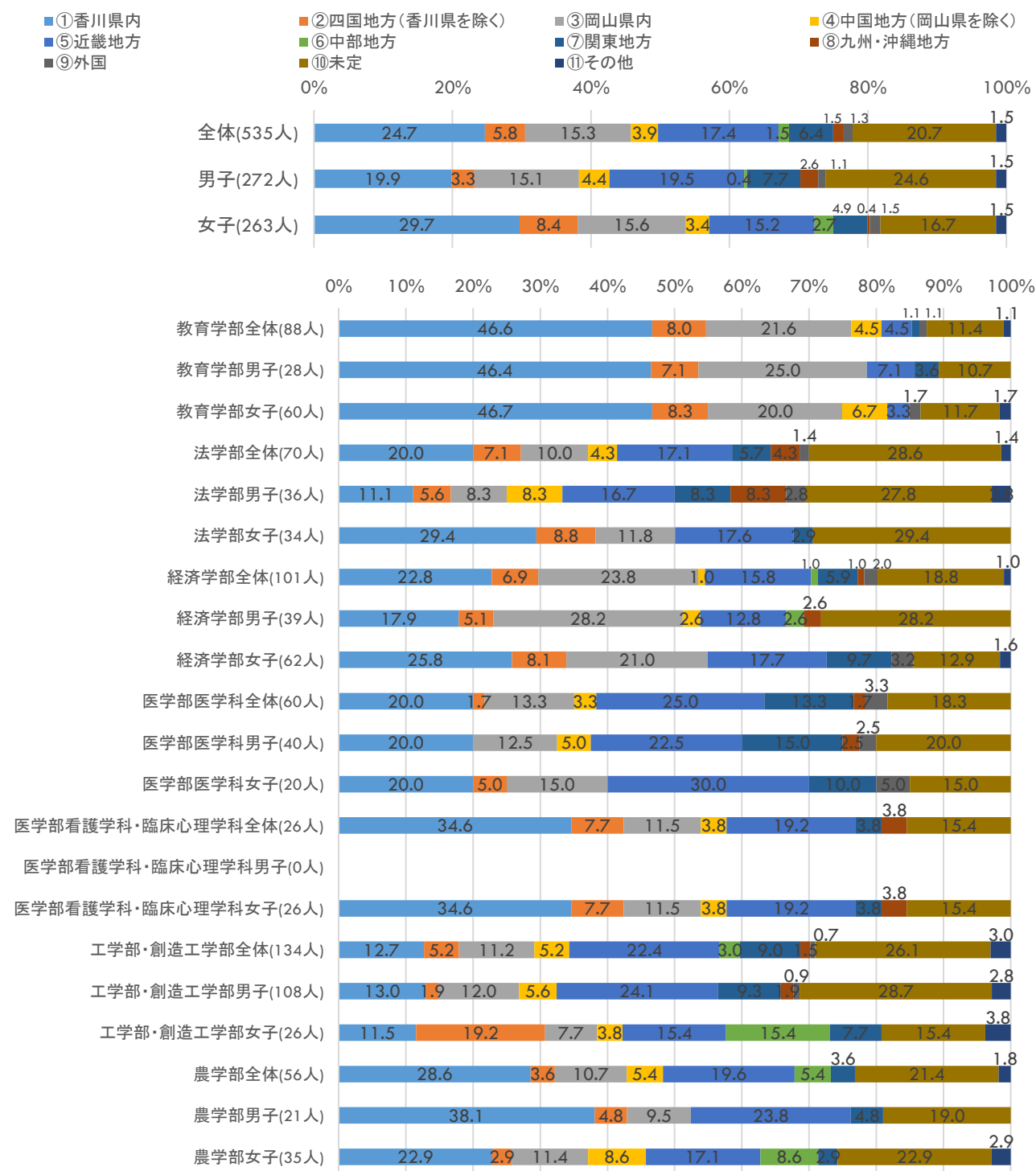


(5)就職希望地域

問38 就職先としてどの地域を希望しますか。

就職先として希望する地域は、全体では香川県内が24.7%で最も高く、次いで「未定」(20.7%)、近畿地方(17.4%)、岡山県内(15.3%)の順となっています。男女別では、男子では「未定」が24.6%と最も高く、次いで香川県内と近畿地方が約20%と高くなり、女子では香川県内が29.7%と特に高くなっています。

学部別にみると、希望する地域に差異がみられます。教育学部では46.6%が香川県内を希望し、法学部、医学部医学科では香川県内と近畿地方が同程度に高く、経済学部では香川県内と岡山県内が同程度に高く、医学部看護学科・臨床心理学科、教育学部で香川県内を希望する割合が高く、農学部では香川県内がやや高くなり、工学部・創造工学部では近畿地方がやや高くなっています。

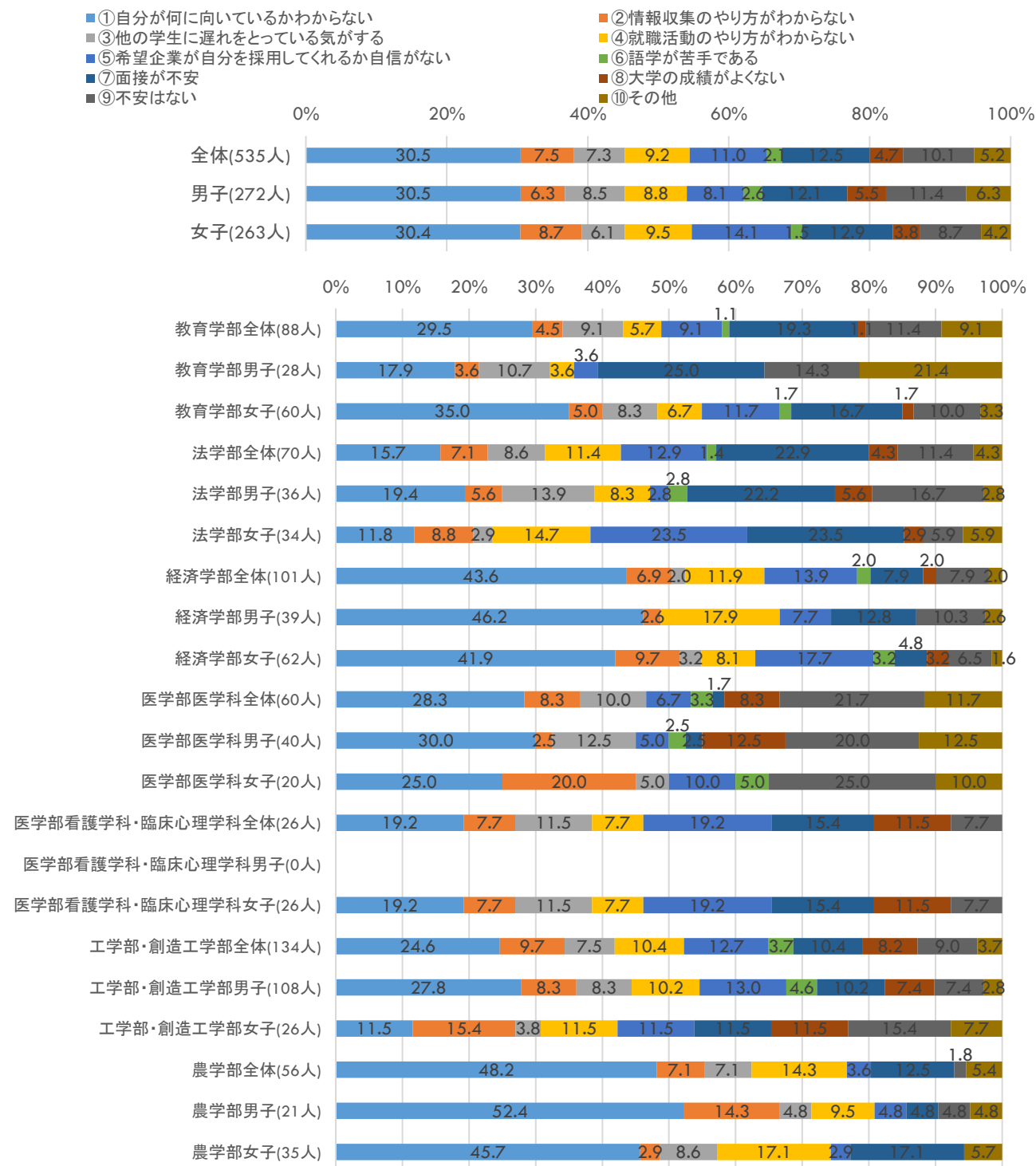


(6)就職活動で不安なこと

問39 就職活動に関して、不安に思っていることは何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

就職活動に関して不安に思っていることは、全体では「自分が何に向いているかわからない」が30.5%と最も高く、次いで「面接が不安」の12.5%の順になります。男女別にみると、「希望企業が自分を採用してくれるか自信がない」は女子の方が、「不安はない」は男子の方がやや高くなっています。

学部別にみると、教育学部では全体の傾向に近くなっています。「自分が何に向いているかわからない」は、経済学部と農学部では40%以上と高く、法学部と医学部・臨床心理学科では20%以下と低くなっています。医学部医学科では20%以上が「不安はない」と答え、工学部・創造工学部の回答では比較的分散しています。



(7)就職に関する大学への要望

問40 就職に関する大学への要望について、次のうちから一つ選んで教えてください。

就職に関する大学への要望は、全体では「面接対策、履歴書・エントリーシート の書き方の実践指導の充実」が21.7%で最も高く、次いで「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」の16.4%、「ガイダンス、セミナー等の充実」と「相談員による就職相談、職業適性検査の充実」の各13.6%の順となります。男女別にみると、女子に比較して男子では「就職情報誌、就職関係書籍、PC(利用環境)の充実」と「ガイダンス、セミナー等の充実」がやや高く、男子に比較して女子では「相談員による就職相談、職業適性検査の充実」と「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」の割合が高い傾向にあります。

学部別にみると学部によって要望は異なり、教育学部と法学部では「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」、経済学部、医学部看護学科・臨床心理学科、工学部・創造工学部、農学部では「面接対策、履歴書・エントリーシート の書き方の実践指導の充実」、医学部医学科では「就職情報誌、就職関係書籍、PC(利用環境)の充実」の要望が高くなっています。

